



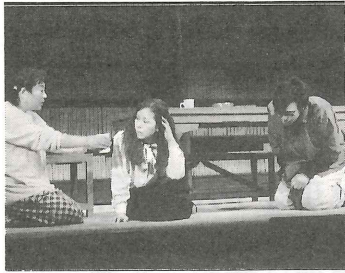


## 劇団麦の会

6 / 12(土)・13(日)

「救いの猫ロリータはいま…」

関内ホール(小)



とかく観念的な芝居に仕立てられていたという印象が強かった今までの麦の会の清水作品と比べて、今回は説得力ある芝居として観客に迫りました。演出に中村俊夫さんを迎え、移籍(?)してきた矢澤はるみさんを主役の「あすか」に据えて変幻自在な芝居をさせ、ベテランの武井法子さんが地域の言葉を使って朴訥な「卷子」を創ってこれに対峙したこの創りが、ややもすると観念に流され易い芝居に説得力を持たせた大きな要因となりました。

アマチュア演劇の特色は、下手でも舞台に出られることであり、ひたすら芝居創りのアンサンブルが上手下手をこえて観客に感動を与えるものですが、しかし登場人物全てが観客に伝わる物言いができることが必要条件だとは思いますが。

気になったのは幕切れの「あすか」がロリータに化身していく心理表現が、床に腹ばうことで、客席の場所によって見えなかったことです。この表現をしっかりと観客に伝え得ないと演出の思いが伝わらず、折角の好演も減殺されてしまいます。図書館の雰囲気やうまく出していたあの書架を使っただけではできなかったのでしょうか。それと、原作にない掃除婦を登場させていましたが、意味不明で蛇足の感を免れませんでした。

(横浜演劇研究所・飯田克衝)

## 京浜協同劇団

6 / 17(木)～20(日)

スペース京浜

「鉄道員」

7 / 5(月)～8(木)

東京・内幸町ホール



それまで京浜協同の芝居を観たことがなかった。「鉄道員」のストーリーも知らなかった。劇団も作品も知らないが、どうしてもこの芝居を観たい、と思つた。まだ映画化していない、昨年の初演時のことである。その時そんな風に偶然観に行った。

劇場に入ればそこは、雪の降り積もつた静かな寂しい駅。最初の列車のシーンでは、思わずこれは一体、どのような仕

掛けになっているのだろう、と考えてしまった。が、いつの間にかその世界へと入り込んでいった。道具、衣裳全てにおいてリアルで面白かった。役者も照明も音響もごく自然で美しく感じた。この作品に出逢えた偶然に感謝したい。

映画の方は観ていない。映画も良いと思うが、やはり、すぐそこにいる人間の姿を観る方がいい。迫力がある。初演の方が今回二度観させて頂いたが、初演の方がいきおいがあったように思う。その時の方が素直に、自然に世界に引き込まれていった気がしてならない。

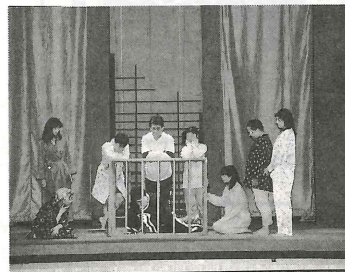
(河童座 川辺恵理子)

## 劇団かに座

6 / 19(土)・20(日)

「友達」

横浜市教育文化ホール



黒い喜劇「友達」。ある男の所に突然8人の家族がやって来る。男は当然追い返そうとするが「私達は孤独を癒す愛のメッセンジャー」などといって居座ってしまう。

こんなあらすじを知っていたし、黒い喜劇そして、申し訳ありませんが初めて見る「かに座」にかなり期待を持って見に行きました。

役者さんは皆さんセリフがしっかりし

ており、ストーリーの分かり易い演出、そして装置などにも好感を持ちました。

しかし全体に抑揚がなく単調な舞台だった。それも面白さではあるのだろうか、ラストの「意外」な結末の面白さと言うか、恐らつながらなかったのでは無いただろうか。客席からの笑も少なかった様に思う。

もう少し役者さんのやりとりの面白さを見せてほしかった。

そして、これは教育文化ホールという会場の問題だろうが、暗転が明るすぎてしらけてしまい、工夫がほしかった。

(劇団麦の会 オダヒロユキ)

## 劇団葡萄座

7 / 10(土)・11(日)

「マインド」

スペースオルタ

文明が高度に発達すると、人間は社会システムのパーツにすぎなくなり、その人間性は失われてしまう。

オープニングの電車内風景、書割セットを使っただけのマンガ風な演出は、現代社会の非人間性を的確に表している。抽象的なテーマ、複雑なストーリーであるが現代の寓話として喜劇的に描かれているので、抵抗は全くない。主人公の分身である三人の人物も、体つき、服装、行動

などがはっきりと区別され、たいへん理解しやすい。

主人公の前に、少年時代の彼自身や、若い頃の母親が現れ、そこで展開されるシチュエーションは、文明社会が袋小路にはまり、行きづまってしまった状況を表現しているが、俳優の皆さんがテーマを理解し、きちんと整理された演技をしているので、観る者は、舞台へとひきこまれるほどの、緊張感を感じるのである。

(劇団こゆるぎ座 田代勝利)

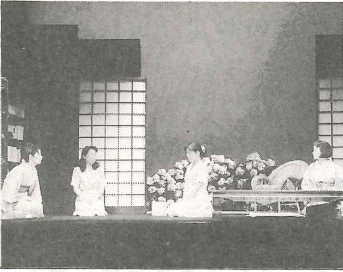


## 横浜小劇場

7 / 17(土)・18(日)

### 「雨の庭」

関内ホール (小)



パンフレットに小山祐二の『私の演劇履歴書(1)』末筆に『「雨の庭」を書いた昭和15年は戦意高揚を狙った皇紀2600年の祝典があり新劇界に大きな嵐が吹きまわった年でもあった。』と記され、昭和12年生まれ私には印象的でした。役者の台詞が説明的に聞こえてしまったのは私だけでしょうか。演出者や役者の問題では

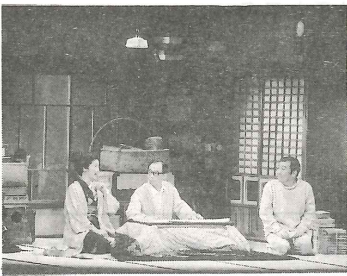
なく今の時代には作品の文体に問題があるように思われます。とりわけ舞台の動きが静かで地味なので登場人物の内なる動きと他者との関係から生まれる言語のリアリティーが乏しかったようです。作品のふくよかな美しさ哀しさ可笑しさがさらに増幅され、ラストシーンのリアリティーが成立することを強く願いました。ともあれ、忘れがちな古き時代に思いを馳せあらためて今を考えさせてくれた横浜小劇場ならではの貴重な舞台でした。(プロジェクト夢樹 吉本敏克)

## 劇団蒼生樹

7 / 30(金)～8 / 1(日)

### 「時の物置」

横浜市教育文化ホール



蒼生樹の公演は何回も観ているが、今回は私的な理由で初回の公演を拝見した。初めて舞台の幕が上がる時はいつも緊張するものだが、蒼生樹の皆さんは淡々とこなしているの思わず感心してしまいました。いつも思う事ではあるが、今回も実に

しっかりと舞台装置に感心させられる。単純に人手が多いだけではこういう舞台装置は作れないであろう。

時間を経ることに登去人物も増えてゆき、次第に舞台が狭く感じさせられていく。登場人物それぞれの個性がストーリー展開とかみあって徐々に蒼生樹らしい面白い舞台となっていた。演じる役者個々の持ち味も出ていて2時間半の舞台も実に面白く、勉強になるものであった。ただ、あえて一言だけいわせてもらえんとするならば、前半部分の盛り上がりには少々欠けていたことが残念であった。全体的に面白く仕上がっただけに心残りである。

(葡萄座 宮城 忠)

## 劇団河童座

8 / 13(金)～15(日)

### 「新釈鉄河鉄道の夜」

相鉄本多劇場



河童座の「新釈銀河鉄道の夜」は百八十回目の公演だという。京浜が四十年で七十回に満たないのだからその精力的な活動には、頭が下がる。

実は河童座の舞台は初めてなのである。この春、横田氏の「ドリトル先生怪獣としゃべる」の脚本で、かわさき演劇まつりでお世話になっており、自由奔放な舞台構成が面白く、楽しみに出かけたのだった。

想像していた通り、横田氏による宮沢賢治ワールドがそこにあった。双子の星とよだかの星まで盛り込まれており、多くのエピソードを積んで銀河鉄道は進んでいく。

原作は謎の多い作品ですが、ジョバンニとカンパネラの友情やしあわせさがしの意味合いに終わらないで「宮沢賢治の世界をファミリー劇場風に」との意図を感じたところです。

残念なのは光や色の透明感・宏大な広がり、背景、それらを助ける音の工夫等、スタッフの力量不足を感じさせたのは、劇場のせい？

(京浜 藤井)

## 公演スケジュール 12月～3月

劇団河童座 「わしゃ 喰っちょらん！  
12 / 11(土)12(日)横須賀青少年会館

京浜協同劇団 『第29回かわさき演劇まつり』  
3 / 17(金)～19(日) 川崎幸市民館

劇団蒼生樹 「遠山藤之丞一座 巻之参」  
——知らざあ言ってきかせまじ  
ョウ！—— 12 / 17(金)～19(日)  
横浜市教育文化ホール

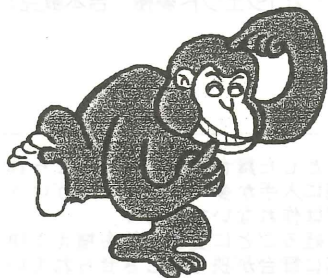
劇団横浜にゅうくりあ 『にゅうくりあ 実  
験劇場 2000』  
3 / 25(土)26(日)テアトルフォンテ

県演連合同公演『西遊記』の上演が決定しました。

## そこで『西遊記』とは？

(編集委員会の独断と偏見でまとめました。参考にしてくださいね！！)

### 『西遊記』の登場人物(?)紹介



#### 孫悟空

花果山の石から生まれた猿だが、不老長寿の仙術を求めて旅に出、仙人から孫悟空と言う名前と、変化の術や金斗雲の術を会得する。

天宮で暴れて如来に押さえつけられていたのを三蔵法師に救われる。三蔵の第1弟子となり、恐れも知らず、困難に臨機応変に対処していく。

#### 猪八戒

前世は酒に酔って女官にちょっかいをだし下界に落とされた天蓬元帥。誤って豚の腹に入ってしまう、生まれ出たら豚の姿となる。

色の黒い男に化けて入り婿に行った高家に三蔵と孫悟空が宿を借りにやってきて、第2弟子となる。

大食漢で色欲旺盛、すぐに解散したが、孫悟空への嫉妬も激しいが一番人間に近い存在。

#### 三蔵法師

前世は釈迦如来の第2弟子。

三蔵を食べると長寿を得られるため、妖怪から命を狙われる。唐の太宗の勅命で取経の旅に出る。

わがままなところがあるが、戒律を守り、取経の情熱は大変強い。



#### 白馬

竜馬とも言う。前世は西海竜王傲閻の子。

天上の宝の珠を焼いたため宙ぶりの刑を受けていたのを菩薩に救われ、三蔵の馬となる。

孫悟空がいなくなるときは小龍に戻り、妖魔と闘っている。

#### 沙悟浄

前世は玻璃の杯を割ったために流沙河(りゅうさが)に落とされた捲簾大将(けんれんたいしょう)。

菩薩の命を受け流沙河で三蔵を待っていた。

第3弟子となるが、沈黙考型で存在感が薄い。だが猪八戒が解散を叫ぶとそれを戒めたりすることから、一番目的意識を持っているらしい。

『西遊記』は、唐の玄奘(げんじょう、西暦602年~664年)の西天取経の史実「大唐西域記」をもとにして生まれたものです。物語としての「西遊記」は、その作者と目されている呉承恩(ごしょうおん、西暦1504年~1582年)が悟空らの奔放さをユーモアたっぷりに生き生きと作り上げたものです。その構成は、第1回本から100回本まであり、これらは4部構成になっています。1部は、孫悟空の生い立ちと天空を騒がし五行山に押さえつけられ菩薩が悟空を仏門に帰依させるまで。2部は、玄奘三蔵の生い立ち。3部は、玄奘が太宗から取経の勅命を受けて出立するまで。4部は、西天取経の旅。であり、八十八の難事を乗り越えて西天にたどり着くという物語です。日本では江戸時代から民衆に愛され親しまれてきました。



## あらすじ

天地創造の大昔に石が裂けて石猿が生まれ、2000年～3000年の歳月が流れた。

そんなある日、石猿は旅に出た途中で仙人より孫悟空の名を貰い、修行を重ね“七十二の変化の術”“金斗雲の術”等を会得した。その後の悟空は手に負えない暴れ者となってしまった。天界の帝は釈迦如来に悟空を帝に説き伏せることを依頼、如来は悟空との賭けに勝ち法力で五行山に押さえつけてしまった。

それから500年後、釈迦如来は仏典を中国に伝えたいと思い立ち観音菩薩にこの使者を見つけたさよう命じた。こうして玄奘（号を三蔵）に巡り会い、三蔵は西天への取経の旅へと出発した。途中、三蔵は山の下に押さえつけられていた悟空を解き放ち弟子とし、沙悟浄・猪八戒・白馬を引き連れての第4部の西天取経の旅が始まるのだが…。

これ以降のあらすじは、は数多ある西遊記の本を読者諸氏において読んでいただくこととして、大変なのでここでチョン！！



### 孫悟空の豆辞典

#### 【頭の輪は何て名前？】

いくつか説があるようですが、「金箍児（きんこじ）」または「緊箍児（きんこじ）」が有力です。「緊箍（きんこ）」「禁箍（きんこ）」説もあります。三蔵法師が観音様から貰って孫悟空の頭にはめ、お経を唱えると頭を締め付けコントロールしていました。

#### 【如意金箍棒（によいきんこぼう）】

龍王から奪ったもの。重さ1万3500斤（1斤597g<sup>2</sup>）で名前のおおりの如く伸び縮みさせることができ、普段は耳の中に納めている。

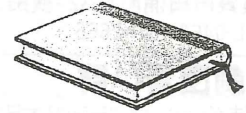
#### 【金斗雲の術】

雲に乗り、ひと飛び10万8000里（1里560m）移動することができる術。



## 西遊記関連書籍・映画・ビデオ

西遊記はどんなあらすじかを知りたいあなたへ！！



- 「西遊記 全10巻」 岩波文庫 各560円 小野忍・中野美代子訳 ポピュラーな翻訳本
- 「西遊記」 岩波少年文庫 上・中・下全3冊 伊藤貴麿編訳 子供向け図書
- 「西遊記」 講談社（少年少女世界文学館23）君島久子訳 子供向け図書
- 「西遊記」 ポプラ社文庫 全3巻 吉本直志郎文 子供向け図書
- 「西遊妖猿伝」 潮出版社 980円 諸星大二郎著 史実を意識したマンガ本
- 「西遊記」 NHK出版 各1000円（現在地の巻、天の巻） 藤原カムイ著  
オールカラーのマンガ本（全冊はまだです）
- 「西遊記」 東映映画1960年作品 88分 アニメーション映画
- 「手塚治虫物語 僕は孫悟空」 バップビデオ 71分 4800円 手塚治虫の西遊記の漫画ビデオ

# 神奈川県演劇連盟 加盟劇団連絡ノート

## 京浜協同劇団

211-川崎市幸区古市場2-109  
0952 TEL 044-511-4951

## 川崎演劇塾

214-川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12-504 小川方  
0005 TEL 044-951-9819

## 劇団葡萄座

220-横浜市西区宮ヶ谷2-2メゾン前橋302山本方  
0006 TEL 045-311-8208

## 劇団麦の会

235-横浜市磯子区磯子2-22-13 山元方  
0016 TEL 045-753-4025

## 劇団かに座

220-横浜市西区岡野町1-3-14  
0073 045-311-4616

## 横浜小劇場

231-横浜市中区福富町西通り52  
0042 横浜演劇研究所内  
TEL 045-261-4866

## 劇団蒼生樹

220-横浜市西区西戸部町2-192-14 濱田方  
0046 TEL 045-242-3584

## 劇団横浜にゅうくりあ

220-横浜市西区中央1-30-17 泉谷方  
0051 TEL 045-321-1920

## 劇団G/9 Project

232-横浜市南区南太田4-38-27  
0006 喜楽荘106 佐藤典久方  
TEL 045-716-5297

## 劇団河童座

237-横須賀市田浦町4-32 横田方  
0035 TEL 0468-61-2666

## 劇団蒼い群

239-横須賀市グリーンハイツ5-2-107 村田方  
0846 TEL 0468-49-5785

## プロジェクト夢樹

239-横須賀市大津町4-43 吉本方  
0808 TEL 0468-36-7494

## 劇★派

238-横須賀市上町2-1 ネバーランド内  
0017 TEL 0468-27-1631

## 湘南ミュージカルシアター

253-茅ヶ崎市ひばりが丘1-10 前田方  
0027 TEL 0467-85-4313

## 劇団こゆるぎ座

250-小田原市本町2-2-20 梅月食堂内  
0012 TEL 0465-22-2988

# '99年度第2回理事会報告

## 劇団かに座

### 田辺晴通

8月23日開催された理事会の概要について下記のとおり報告する。I 40周年記念合同公演について、準備状況の経過報告 公演日等については第19号ドラマ神奈川に掲載されたとおり11月11日(土) 12日(日) 青少年センターホール、11月25日(土) 26日(日) 川崎中原会館ホールと決定しているが、稽古場の確保が、県市各施設への要請も条件が合わずまだ未解決であったこと、各理事等更に努力することは当然として稽古場費として10万を計上し、4~7月テアトルフォンテ、8~10月野毛フラスコ、以降京浜協同の稽古場(装置製作も)を基本ベースとして進めていくことになった。共催団体として神奈川県・神奈川文化財団の了承は得たが、横浜・川崎両市にも共催団体となる要請準備中のことであった(横須賀市ダメであった)。各劇団としては公演時の"ちらし" "パンフレット"等に記念公演について掲載することになった。

II 40周年記念誌編集の現状について 費用の確保が不透明の編集ではあるが、A4版120頁、1000部の印刷で90万弱の費用を要することであったので、部数再検討を含め費用の削減及び捻出方法については更に煮詰めていくことになった。すでに原稿依頼はなされつつあるが9月の理事会にはなお具体化した編集内容が報告される筈である。III 99年度神奈川演劇フェスティバル参加状況について 参加公演については別に掲載される筈と思うので、ここでは省略とする。現在12団体である。以上。

### 【おわびと訂正】

19号、劇団河童座の劇評は横浜にゅうくりあ、泉谷ひとみさんとなっておりますが、これは泉谷渉さんのまちがいです。おわびの上、訂正します。

編集委員をすることによって少しだけ  
連盟の劇団のことがわかったよ  
うな気がします。  
無理な原稿依頼にも心よく引き  
受けていただきありがとうございます。  
いまして。(京浜 清水)

編集長の清水様ご退任で、ちよ  
つと不安。皆様、ご意見並びに  
励ましをくださいませ。  
励ましをくださいませ。(麦の会 みゆき)

昨年とつておいた朝顔の種を8  
月にまいたところ、9月になつ  
て、狂い咲きをしています。今日  
は、残暑厳しき9月15日敬老の  
日。(蒼い群 村田)

川崎演劇塾より参上いたしましたし  
。た。何が出来るかさぐりさぐり  
。よ。よろしくお願ひします。  
(演劇塾 五味)

西遊記を読んで見て、登場人物  
さんとこれらは個性があつて人  
さ。も。是非読んで見てください。  
さん。是非読んで見てください。  
(平丸)